

西ヶ崎町の家

30代の夫婦と、子供2人のための住宅である。

周辺地域はベッドタウンとして住宅街が広がっており、徒歩圏内には赤電の通称で親しまれている遠州鉄道が走っている。駅から少し離れると田園地帯や畑が広がるのどかな雰囲気も持ち合わせている環境である。敷地は、西側は既存住宅、北側には接道となる道路が通っており、その向こう側にも住宅が連なってゆったりと建っている。東側には、建主の妻の父親が、日々野菜を育てている200坪ほどの畑が広がっている。さらに南側は更地になっているため、敷地に対して日中の日差しを遮ったり、特別視線を気にしたりすることのない環境であり、周辺地域同様に敷地に関しても、とてもおおらかな環境であると印象を受けた。建物計画としては、平屋の要望があり、まずは南北に長い敷地形状に沿わせてボリューム検討をした。建物は、東隣地の畑側に寄せ、西側隣家との間には余白を設け、距離を取ることでプライバシーに配慮した。また、南北ボリュームの建物の中央部に、玄関を設けたボリュームを東西方向に挿入し、建物西側の余白を分節し、駐車場と庭の用途とした。各諸室は、北側道路の離れたところから順に、LDKから始まり、玄関ホールを挟んで、さらに室1~3へと続く配置となっており、道路からのプライバシーに配慮した構成としている。LDKには東西方向に掃き出し窓を設けて、土地柄的に吹く西風の取り込みと、敷地内の庭や隣地の畑へのアクセスを確保した。南側の窓は高窓とし、冬の光を室内深くまで取り込み、眺望があまり良くない更地への視線をカットした。玄関ホールを挟んで、北側の建物ボリュームには室1~3が設けられており、東西方向に、収納⇄廊下⇄室の順に並んでいて、薄いレースカーテンだけで仕切れるようになっており、閉めていても透過して中の気配を感じ取れるようになっている。廊下は、一般的な幅より大きく確保し、寝室との仕切りカーテンを開けることで、廊下を部屋の一部としても使用できるように想定していて、子供の遊び場が部屋を超えて廊下に侵食することを許容している。また、室1~3の配置は、ドミトリーを彷彿とさせるものとなっており、将来の家族の生活の変化に合わせて部屋の使い方を換えられるような柔軟性を持たせることで、個々の部屋は完全に独立したものではなく、一時的なニーズや家族の成長に合わせて空間を適応させることを考慮している。室1~2の上にあるロフトは、室3との間のガラスと、室3の窓を介して外部と接続している。道路に面した外観は、暗くなると、照明に照らされたロフトの天井すべてが見ることができ、地域に対しておおらかな行燈のような構えを持つ。周辺地域や敷地環境のおおらかな印象を取り込み、家族の日常の中での柔軟なニーズを考慮してつくられた空間は、家族が日々成長し、変化する中でも常にそのおおらかさや温かみを感じられる住まいの実現を目指した。

●建物概要	所在地 : 静岡県浜松市東区西ヶ崎町 計画区域 : 市街化調整区域 用途地域 : 用途地域なし 防火地域 : 指定なし その他 : 法22条指定区域 下水道処理区域 主要用途 : 専用住宅 構造 : 木造在来軸組工法 階数 : 平屋建て 工期 : 2021年9月~2022年3月 最高高さ : 5.80m 敷地面積 : 300.00㎡ (90.7坪) 建築面積 : 123.99㎡ (37.5坪) 延床面積 : 114.89㎡ (34.7坪) 建蔽率 : 41.33% 容積率 : 38.30%
-------	--

●外部仕上げ	屋根 : カラーG L鋼板立平葺き t 0.4 外壁 : カラーG L鋼板中波 (縦張り) t 0.5 杉材羽目板張り (横張り) t 18.0 WP塗装 軒裏 : 高圧木毛セメント板 t 15.0
--------	--

●内部仕上げ	[リビング・ダイニング・キッチン] 床 : 複合フローリング t 15.0 塗装品 壁 : PB t 12.5 AEP塗装 天井 : 構造用合板 t 24.0 素地	[ロフト] 床 : ラワン合板 t 18.0 UC塗装 壁 : ラワン合板 t 12.0 OS塗装 天井 : ラワン合板 t 5.5 UC塗装
	[室1・2・3] 床 : 複合フローリング t 15.0 塗装品 壁 : ラワン合板 t 12.0 OS塗装 天井 : 構造用合板 t 12.0 素地	[洗面脱衣室] 床 : 長尺シート t 2.0 壁 : PB t 12.5 AEP塗装 天井 : PB t 9.5 AEP塗装



リビング・ダイニング : 南側高窓からブリーツカーテン越しの日差し、正面窓の外には東側隣地の畑が望める。



リビング・ダイニング : 南方向を見る。

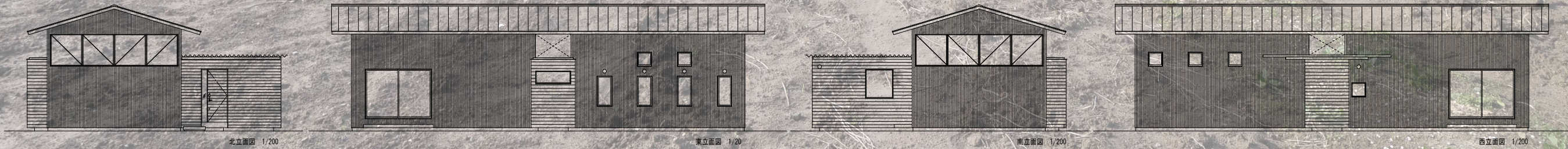


リビング・ダイニング : 北方向、キッチンを見る。

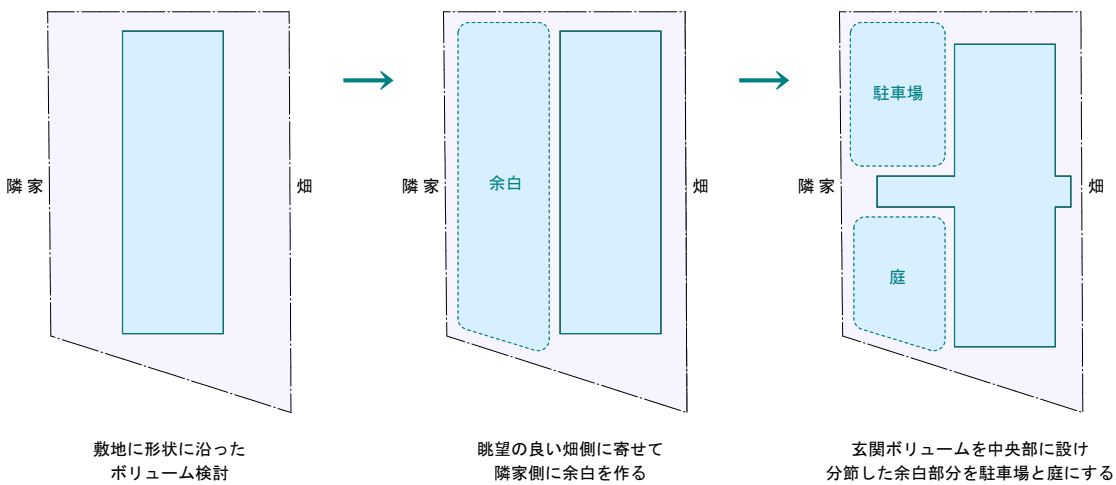


東側隣地の畑側から建物外観を見る。建物中央部に杉板の建物ボリュームを設け、さらにその上の外壁を抜くことで、大ボリュームの圧迫感を緩和している。

●立面図

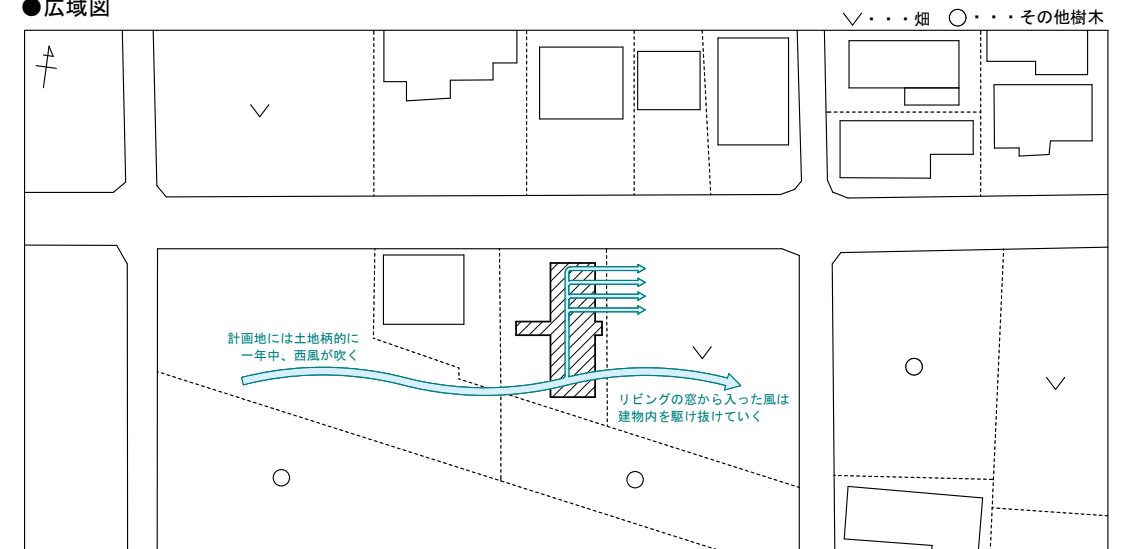


●計画ダイアグラム



敷地北側の道路側から建物外観を見る。畑側にあらわれていた杉板の建物ボリュームが突き抜けてきて玄関の用途となっている。

●広域図





廊下：室3方向を見る。左側カーテンは収納の仕切り、右側カーテンは個室の仕切りとしている。カーテンの色は空間が単調にならないようにスパンごとに色を変えている。向かい合うカーテンの色は合わせている。上部はロフト階。廊下幅は、子供の遊ぶスペースやロフト梯子を掛けた際に横を通行できるように芯々1365mmと広めに設定している。



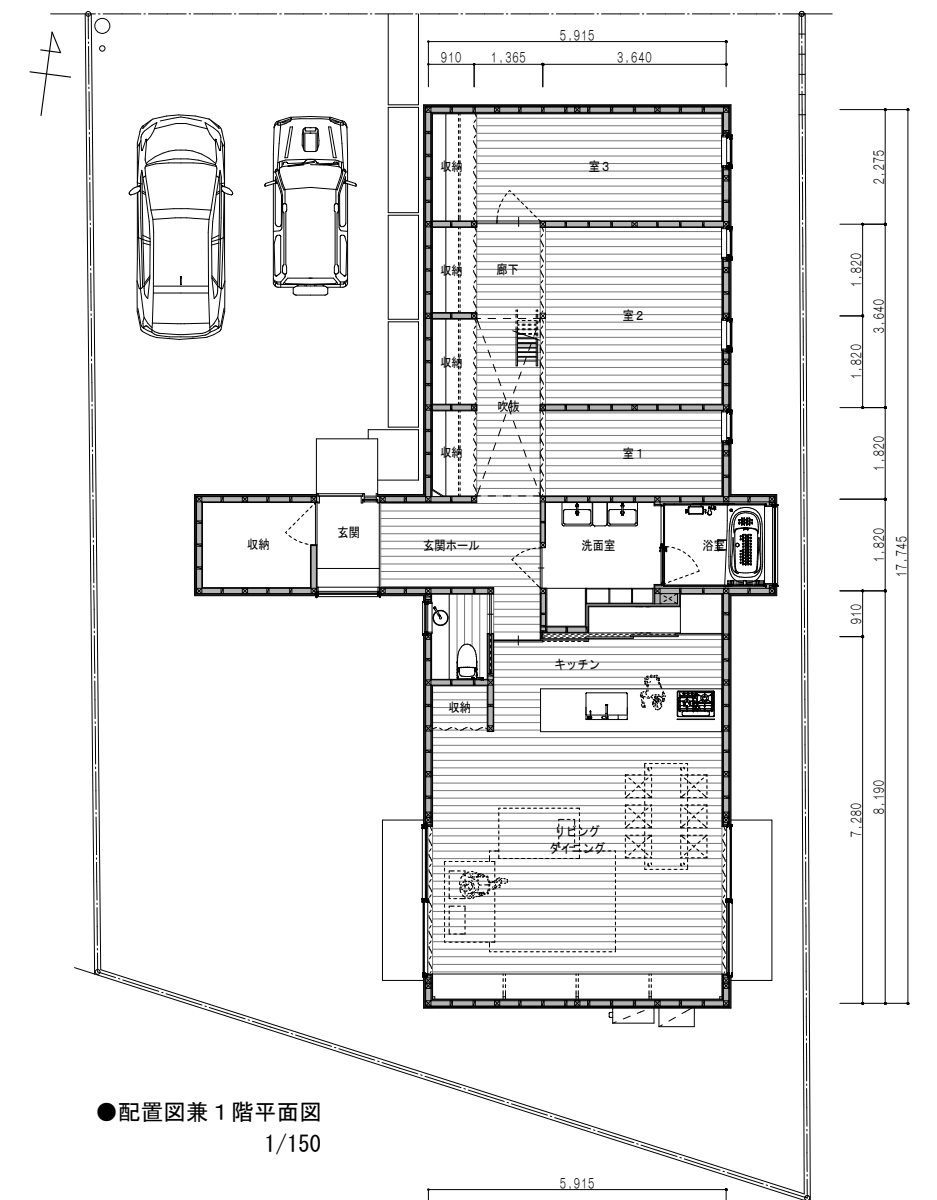
廊下：室2方向を見る。現在は家族4人の寝室として使用。



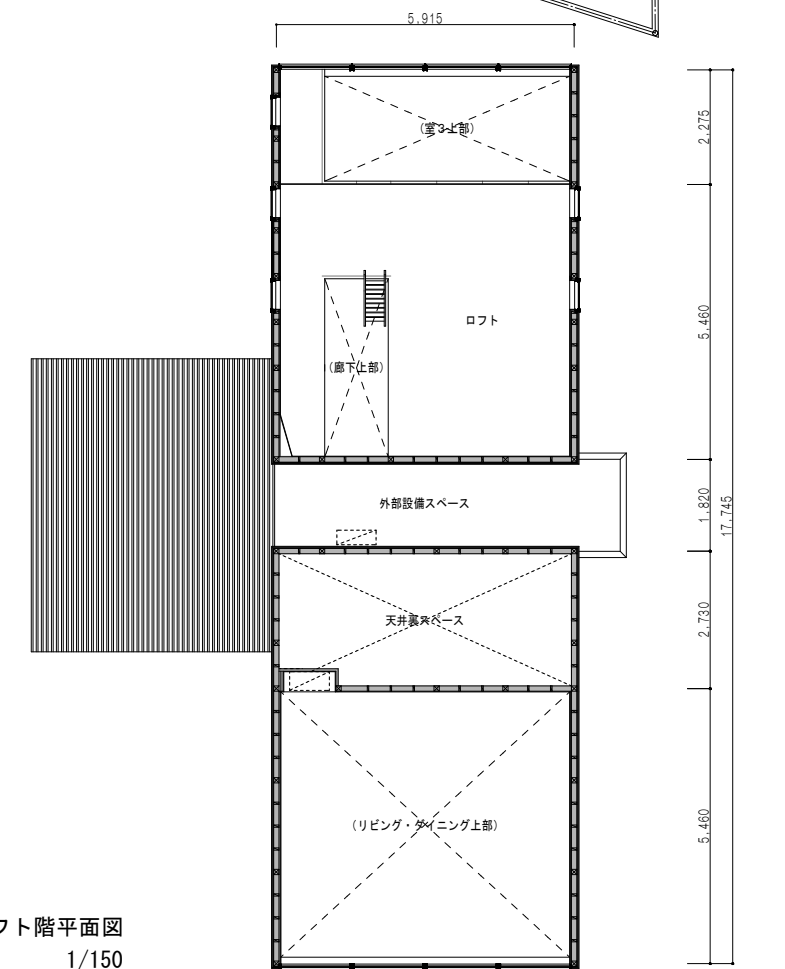
室1：入口側を見る。廊下越しに室1用の収納がある。



室3：入口側を見る。正面のカーテンの奥は収納。



●配置図兼1階平面図
1/150



●ロフト階平面図
1/150



●南北方向断面図
1/200

